

製品名: PFK-B ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16015**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	85kDa

抗原情報

遺伝子名	PFKL
別名	PFKL; 6-phosphofructokinase; liver type; Phosphofructo-1-kinase isozyme B; PFK-B; Phosphofructokinase 1; Phosphohexokinase
遺伝子 ID	5211.0
SwissProt ID	P17858
免疫原	抗血清はヒト K6PL 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 691-740

背景

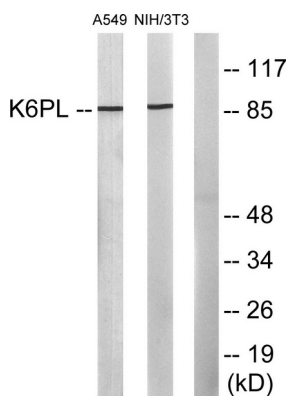
この遺伝子は、グルコース代謝（解糖）における重要なステップである、D-フルクトース 6-リン酸から D-フルクトース 1,6-ビスリン

酸への変換を触媒する酵素の肝臓 (L) サブユニットをコードしています。この酵素は四量体であり、異なる組織において異なる遺伝子によってコードされる異なるサブユニットから構成される可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2014年3月],触媒活性: $\text{ATP} + \text{D-フルクトース 6-リン酸} = \text{ADP} + \text{D-フルクトース 1,6-ビスリン酸}$ 。補因子: マグネシウム。酵素調節: ADP、AMP、またはフルクトースビスリン酸によって活性化され、ATPまたはクエン酸によって阻害されるアロステリック酵素。、その他: ヒトの PFK は、PFKM (筋肉)、PFKL (肝臓)、および PFKP (血小板) アイソザイムの 3 種類のサブユニットのシステムとして存在します。、経路: 炭水化物の分解; 解糖; D-グルコースから D-グリセルアルデヒド 3-リン酸とグリセロンリン酸: ステップ 3/4。、類似性: ホスホフルクトキナーゼファミリーに属します。2つのドメインサブファミリー。、サブユニット: テトラマー。筋肉は M4、肝臓は L4、赤血球は M3L、M2L2、または ML3 です。

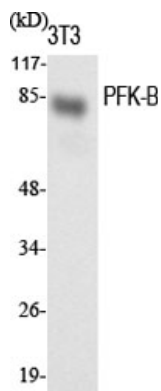
研究分野

解糖系/糖新生;ペントースリン酸経路;フルクトースおよびマンノース代謝;ガラクトース代謝;

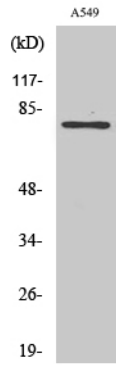
画像データ



K6PL 抗体を用いた A549 細胞および NIH/3T3 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



1: 1000 に希釈した PFK-B ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



1: 1000 に希釈した PFK-B ポリクローナル抗体を用いた NIH-3T3 細胞のウェスタンブロット解析